

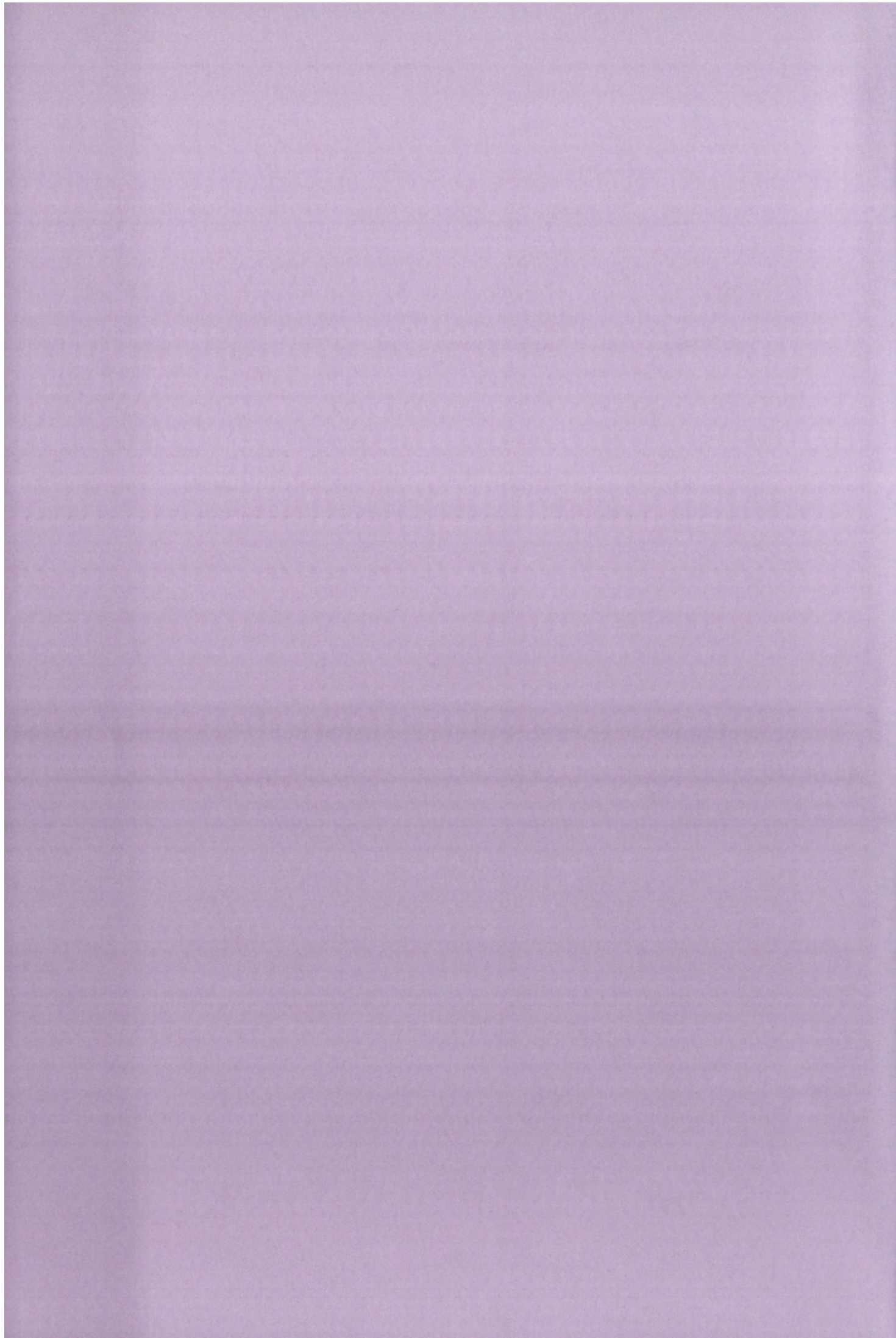
新完全マスター 語彙

日本語能力試験 N2

伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治 著

- 「類義語」「語形成」「オノマトペ」など試験に対応した学習項目。
- 基本練習と実践練習の2段階に分かれた練習問題(995問)。
- 試験対策にとどまらず、中上級学習者の語彙学習にも最適。

スリーエーネットワーク



新完全マスター 語彙

日本語能力試験 N2

伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治 著

©2011 by Inou Hiroaki, Honda Yukari, Kurusu Satomi, Maebo Kanako, Abo Kimie,
and Miyata Koji

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a
retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical,
photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the
Publisher.

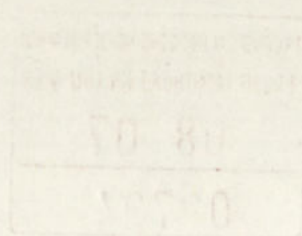
Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083,
Japan

ISBN978-4-88319-574-9 C0081

First published 2011

Printed in Japan



はじめに

日本語能力試験は、1984年に始まった、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験です。受験者が年々増加し、現在では世界でも大規模の外国語の試験の一つとなっています。試験開始から20年以上経過する間に、学習者が多様化し、日本語学習の目的も変化してきました。そのため、2010年に新しい「日本語能力試験」として内容が大きく変わりました。新しい試験では知識だけでなく、実際に運用できる日本語能力が問われます。

本書はこの試験のN2レベルの問題集として作成されたものです。

新しい「日本語能力試験」では、語彙に関して、まず、以下の3点が、今までの試験と大きく変わりました。

- ①試験の出題範囲となる語(N5～N1)が約10,000語から約15,000語に増えた。
- ②どの語が試験に出題されるかを示す語彙リストがすべて非公開となった。
- ③日本語を学ぶ人が、どのような状況(目標言語使用領域)で、何のために(課題)、日本語を使うかという観点から、試験に出題される語彙の選び直しが行われた。

そして、このような試験の変化に対応できるよう、本書は以下のような特徴を備えた本になっています。

■本書の特徴

- ①新しい「日本語能力試験」で語彙を選ぶ際に使われた資料と同じNTTデータベースシリーズ『日本語の語彙特性』(三省堂)等、複数の資料を用い、語彙(全2,283語)の選出を行った。
- ②日本語を学ぶ人がどのような状況で、何のために日本語を使うかを想定し、話題別に言葉を学ぶ章を設けた。(本書第1部)
- ③過去20年分の問題や新しい試験のサンプルなどを分析して、「類義語」「オノマトペ」「語形成」など、さまざまな性質別に言葉を学ぶ章を設けた。(本書第2部)
- ④例文や問題の作成にあたり、インターネット上の大規模言語データベース＝コーパス(Sketch Engine)等を用い、自然で有用性の高い日本語の文を示すようにした。
- ⑤試験に向けた実践的な練習ができるよう、本書の最後に模擬試験を2回分付した。

本書は今までにない特徴を備えた問題集になっていると確信しています。ぜひ手に取って、日本語の語彙力を磨くために使っていただければ、と思います。

著者

目次

はじめに

ほんしょ	つか	かた	
本書をお使いになる方へ			vi

じつりよくようせいへん 実力養成編

だい ぶ わ だいべつ こと ば まな 第1部 話題別に言葉を学ぼう

しょう	にんげん		
1章	人間		2
	か	しんるい	ゆうじん
1課	親類・友人・知人		2
	か	ひと	せいかく
2課	人の性格・特徴		6
	か	ひと	たい
3課	人に対する感情・行動		10
しょう	せいかつ		
2章	生活		14
	か	しょくせいかつ	
1課	食生活		14
	か	か	じ
2課	家事		18
	か	けんこう	
3課	健康		22
しょう	しゆみ		
3章	趣味・娯楽		26
しょう	りょこう		
4章	旅行		30
	か	りょこう	こうつう
1課	旅行・交通		30
	か	しぜん	
2課	自然		34
しょう	きょういく		
5章	教育と仕事		38
	か	がっこう	
1課	学校		38
	か	し	ごと
2課	仕事		42
しょう			
6章	メディア		46
	か	ほうどう	こうこく
1課	報道・広告		46
	か		
2課	コンピューター		50
しょう	しゃかい		
7章	社会		54
	か	ぎょうじ	
1課	行事		54
	か	じ	けん
2課	事件・事故・災害		58
	か	けいざい	さんぎょう
3課	経済・産業		62
	か	せい	じ
4課	政治・法律・歴史		66
しょう	かがく		
8章	科学		70
	か	し	ぜん
1課	自然		70
	か	かがく	ぎじゆつ
2課	科学・技術		74
しょう	ちゅうしょうがいねん		
9章	抽象概念		78
	か	すうりょう	あらわ
1課	数量を表す言葉		78
	か	じ	かん
2課	時間・空間の言葉		82

だい ぶ せいしつべつ ことば まな
第2部 性質別に言葉を学ぼう

1 章	しょう い み ことば 意味がたくさんある言葉	88
1 課	か どう し 動詞①	88
2 課	か どう し 動詞②	94
3 課	か けいよう し めい し 形容詞・名詞	100
2 章	しょう い み に ことば 意味が似ている言葉	106
1 課	か ふく し けいよう し 副詞・形容詞	106
2 課	か めい し どう し 名詞・動詞	112
3 章	しょう かたち に ことば 形が似ている言葉	118
4 章	しょう ふく し 副詞	124
1 課	か てい ど じ かん ひん ど ふく し 程度、時間、頻度の副詞	124
2 課	か う し き びょうげん く ふく し 後ろに決まった表現が来る副詞	130
3 課	か おぼ ふく し た ふく し まとめて覚えてたい副詞・その他の副詞	136
5 章	しょう オノマトペ	142
6 章	しょう かんようひょうげん 慣用表現	148
1 課	か からだ ことば つか かんようひょうげん 体の言葉を使った慣用表現①	148
2 課	か からだ ことば つか かんようひょうげん た かんようひょうげん 体の言葉を使った慣用表現②・その他の慣用表現	154
7 章	しょう ご けいせい 語形成	160
1 課	か ふた ことば 二つの言葉をプラス	160
2 課	か たん ご まえ かん じ 単語の前に漢字をプラス	166
3 課	か たん ご う し かん じ 単語の後ろに漢字をプラス	172
4 課	か けいよう し つく どう し めい し 形容詞から作る動詞と名詞	178

も ぎ し けん
模擬試験

だい かい 第1回	186
だい かい 第2回	188

さくいん 索引	190
------------	-----

ほんしょ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

■本書の目的

ほんしょ　い　か　てん　おお　もくてき
本書は以下の2点を大きな目的としています。

- ①日本語能力試験N2対策：N2の試験に合格できる力を付ける。
- ②語彙力の向上：試験対策にとどまらない全般的な語彙の力を付ける。

■日本語能力試験N2語彙問題とは

ほん　ご　の　うり　よく　し　けん　　げん　ご　ち　し　き　　ど　つ　かい　　し　けん　じ　かん　　ふん　　ちやう　かい　　し　けん　じ　かん　　ふん　　ふた
日本語能力試験N2は、「言語知識・読解」（試験時間105分）と「聴解」（試験時間50分）の二つに分かれており、語彙問題は「言語知識・読解」の一部です。

N2の語彙問題は更に以下の四つの部分に分かれます。

- 1　ぶん　みやく　き　てい　　ぜん　ご　　ぶん　みやく　　く　う　し　よ　　はい　　ご　　え　ら　　も　ん　だ　い
文脈規定　前後の文脈から空所に入る語を選ぶ問題
- 2　い　　か　　る　い　ぎ　　し　や　つ　だ　い　　ご　　い　　み　て　き　　ち　か　　ご　　え　ら　　も　ん　だ　い
言い換え類義　出題された語と意味的に近い語を選ぶ問題
- 3　よう　ほう　　ふ　く　す　う　　ふ　ん　　な　か　　ご　　た　だ　　つ　か　　ふ　ん　　え　ら　　も　ん　だ　い
用法　複数の文の中から語が正しく使われている文を選ぶ問題
- 4　ご　けい　せい　　く　う　し　よ　　せ　つ　と　う　じ　　せ　つ　　び　　じ　　い　　は　　せい　　ご　　ふ　く　ご　う　　ご　　つく　　も　ん　だ　い
語形成　空所に接頭辞や接尾辞などを入れ、派生語や複合語を作る問題

■本書の構成

ほんしょ　い　か　　こう　せい
本書は、以下のような構成になっています。

じ　つ　り　よく　よう　せい　へん
実力養成編

だい　　ぶ　　わ　　だい　　べ　つ　　こ　と　　ば　　ま　な　　し　や　う　　ぜん　　か
第1部　話題別に言葉を学ぼう　9章　全21課

だい　　ぶ　　せい　　し　　つ　　べ　　つ　　こ　と　　ば　　ま　な　　し　や　う　　ぜん　　か
第2部　性質別に言葉を学ぼう　7章　全16課

も　　ぎ　　し　　けん
模擬試験

かい
2回

さ　く　いん　　つ　　ご　　じ　　や　う　　おん　　じ　　や　　ん
索引　ふりがな付き、五十音順

べ　つ　　さ　　つ　　かい　　と　　う　　い　　ち　　ぶ　　かい　　せ　　つ
別冊解答　一部、解説あり

い　　か　　く　　わ　　せ　　つ　　め　　い
以下に詳しく説明します。

だい　　ぶ　　わ　　だい　　べ　　つ　　こ　と　　ば　　ま　な 第1部　話題別に言葉を学ぼう

N2レベルの日本語を学ぶ人がどのような状況で、日本語を使うかを考えて、話題が選んであります。各課の内容は以下の通りです。

1. 言葉と例文

①ウォーミングアップ

し　つ　も　ん　　こ　た　　じ　　ぶ　ん　　ご　　い　　り　　よく
質問に答えながら、自分の語彙力をチェックしてください。

あ　な　た　の　げん　ざ　い　の　ご　　い　　り　　よく　　し　　つ　　も　ん　　こ　た
あなたの現在の語彙力で質問にきちんと答えられますか。

2 言葉

話題に関する語のリストです。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

3 語形成

2言葉に出てきた語の中で「語形成」に関するものを整理しています。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

4 例文

2言葉、3語形成に出てきた語が使われている例文です。

例文を読んで、太字で示した副詞や副詞的表現の使い方も一緒に覚えてください。

II. 基本練習

1 導入練習

1. 言葉と例文で学んだ語を()に入れて、文章を完成させる問題です。

ある程度の長さの文章の中で学んだ語がどのように使われるかを覚えてください。

「導入練習」となっていますが、各課が終わった後に復習のために解いてもかまいません。

2 連語～5 語形成

それぞれ「連語」「意味」「類義」「語形成」の各観点から語を学んでいきます。

2連語では、一緒によく使われる語を覚えてください。

III. 実践練習

試験と同じ形式の練習問題です。自分の語彙力を確認してください。

20点満点の小テストとしても使えます。

第2部 性質別に言葉を学ぼう

意味、品詞、形式など、語の性質別に語彙の勉強ができるようになっています。

各課の内容は以下の通りです。

1. 言葉と例文

1 ウォーミングアップ

その課の語を勉強するときに注意すべきポイントが質問の形で示してあります。

質問に答えながら、その課でこれから何を勉強するのか、考えてみてください。

2 言葉

性質別に分類された語のリストです。例文とともに語を覚えてください。

特にN2で学習すべき語は太字で書かれています。

II. 基本練習

「連語」「意味」「用法」の各観点で、さまざまな練習を行って、語を学んでいきます。

連語の問題では、一緒によく使われる語を覚えてください。

III. 実践練習

試験と同じ形式の練習問題です。学んだ語がどれだけ身に付いたか、確認してください。
25点満点の小テストとしても使えます。

模擬試験

50点満点の模擬試験が2回分付いています。これまでの日本語能力試験の問題の分析から特に重要と考えられる語を問題として出しています。自分の今の実力を確認してください。

索引

本書で学習する語の語彙リストとしても使えるようになっています。本文での品詞や形に関係なく、その語の一番短い形(辞書に出ている形)で示しています。

例 本文 索引

勝手 (p.100) → 勝手
勝手な (p.107)

やかましくて (p.107) → やかましい

ひらがなでふりがなが付いていますので、語を暗記する際にも活用できるでしょう。

別冊解答

特に難しいところには、解説(ふりがな付き)が付いています。読んで確認してください。

記号

I. 言葉と例文の中で使用する記号です。

A—B AとBが反義語であることを表す。

A・B AとBが共通の意味、用法、性質を持つことを表す。(類義語など)

A/B AとBが別の表現、意味、用法を持つことを表す。

例 くし/ブラシで髪をとく・とかす(p.22)

A→B BがAに関連の深い語であることを表す。

[] []の中の言葉に当てはまるいろいろな語に入れ替えることができる。

[] 一緒によく使われる語の例。

表記

I. 言葉と例文にはすべてふりがなが付いています。I. 言葉と例文以外では、N2レベルの学習者にとって難しいと思われる漢字を含む語には、ふりがなを付けました。(常用漢字表[昭和56年内閣告示]で扱われていない語を含む。)